

Title	小特集：環境経済学の新展開
Sub Title	序 Preface
Author	大沼, あゆみ(Onuma, Ayumi)
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2007
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.100, No.3 (2007. 10) ,p.583(1)- 586(4)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	小特集：環境経済学の新展開(上)
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20071001-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

小特集：環境経済学の新展開

2007年3月9-11日にかけて、熱海市のホテルアストン熱海において「環境経済学の新展開」のタイトルでコンファレンスを開催した。若手および中堅の研究者を中心に、最新の環境経済学に関わる報告および質疑応答が行われた。

環境経済学は大きく発展しつつある。さまざまな環境問題が深刻化し、それに対処する必要性に迫られているからである。本コンファレンスでは、こうした環境問題に環境経済学がどのように取り組み、いかなる成果をあげたのか、また課題は何かを、17の報告をもとに議論を行った。

3日間を通じて、きわめて熱のこもった質疑・応答が展開された。懇親会の会場でも、継続して議論が行われたほどであった。非常に有益で刺激的な場となったことは大きな喜びであった。

本特集では、このコンファレンスの全員の報告者に論文を執筆いただいた。そのため、上・下と2号に分けて掲載することになった。今号では10本の論文を、また次号で7本の論文を掲載する予定である。

本コンファレンスでは、慶應義塾大学経済学会より支援をいただいた。ここに記して、心よりの感謝を表したい。

大 沼 あ ゆ み
(経済学部教授)

プログラム

3月9日（金）

座長 細田 衛士（慶應義塾大学）

13:00—13:40 坂上 紳（慶應義塾大学）

「環境政策とリアルオプション —複数主体における汚染削減費用の交渉問題—」

13:40—13:55 質疑応答（討論者：西村一彦）

13:55—14:35 伊ヶ崎 大理（熊本学園大学）

「Population, Technological Conversion, and Optimal Environmental Policy」

14:35—14:50 質疑応答（討論者：大沼あゆみ）

14:50—15:30 河田 幸視（慶應義塾大学）

「漁期短縮によるトラフグ漁業資源回復効果の実証的研究」

15:30—15:45 質疑応答（討論者：赤尾健一）

15:45—16:15 休憩

16:15—16:55 大沼 あゆみ（慶應義塾大学）

「On the Distribution of Benefits Arising from Bioprospecting Between the North and South」

16:55—17:05 質疑応答（討論者：新熊隆嘉）

17:05—17:45 鷺田 豊明（上智大学）

「公共財の私的供給に関するナッシュ均衡の安定性」

17:45—18:00 質疑応答（討論者：小谷浩示）

3月10日（土）

午前の部 座長 河田 幸視（慶應義塾大学）

8:30—9:10 小谷 浩示（横浜国立大学）

「Optimal Programs on Invasive Species Management under Growth Uncertainty and Measurement Error」

9:10—9:25 質疑応答（討論者：坂上紳）

9:25—10:05 斉藤 崇（鹿児島国際大学）

「外部性と廃棄物政策に関する一考察」

10:05—10:20 質疑応答（討論者：畠瀬和志）

- 10:20—10:40 休憩
- 10:40—11:20 西村 一彦 (日本福祉大学)
「リサイクル・デザインの自律的内部化モデルと諸問題」
- 11:20—11:35 質疑応答 (討論者: 齊藤崇)
- 11:35—12:15 坂井 豊貴 (横浜国立大学)
「Fair Waste Pricing: An Axiomatic Analysis to the NIMBY Problem」
- 12:15—12:30 質疑応答 (討論者: 細田衛士)
- 12:30—13:30 昼食
- 午後の部 座長 鷲田 豊明 (上智大学)
- 13:30—14:10 寶多 康弘 (南山大学)
「Welfare Effects of International Income Transfers under Transboundary Pollution」
- 14:10—14:25 質疑応答 (討論者: 大東一郎)
- 14:25—15:05 畠瀬 和志 (神戸大学)
「新エネルギー技術の普及にロジスティック成長曲線を適用した地球温暖化の動学的最適化モデル」
- 15:05—15:20 質疑応答 (討論者: 馬奈木俊介)
- 15:20—16:00 大東 一郎 (東北大学)
「Environment and Wage Subsidies in a Dual Developing Economy」
- 16:00—16:15 質疑応答 (討論者: 伊ヶ崎大理)
- 16:15—16:40 休憩
- 16:40—17:20 馬奈木 俊介 (横浜国立大学)
「International Trade and the Environment: Is Trade Openness Good for the Environment?」
- 17:20—17:35 質疑応答 (討論者: 河田幸視)
- 17:35—18:15 新熊 隆嘉 (東京外国語大学)
「Extended Producer Responsibility in a Developed Country and the Effect on International Trade, the Environment, and the Social Welfare」
- 18:15—18:30 質疑応答 (討論者: 寶多康弘)

3月11日(日)

座長 大沼 あゆみ (慶應義塾大学)

- 9:00-9:40 柳瀬 明彦 (高崎経済大学)
[Indeterminacy and Comparative Advantage in a Dynamic General Equilibrium Model with Pollution]
- 9:40-9:55 質疑応答
- 9:55-10:35 赤尾 健一 (早稲田大学)
[Tax Schemes in a Class of Differential Games]
- 10:35-10:50 質疑応答
- 10:50-11:10 休憩
- 11:10-11:50 細田 衛士 (慶應義塾大学)
[使用済み FRP 船舶の静脈物流費用について—第1次輸送の実証実験結果の分析—]
- 11:50-12:05 質疑応答

参加者

赤尾 健一	早稲田大学	柳瀬 明彦	高崎経済大学
伊ヶ崎大理	熊本学園大学	鷺田 豊明	上智大学
小谷 浩示	横浜国立大学	細田 衛士	慶應義塾大学
斉藤 崇	鹿児島国際大学	大沼あゆみ	慶應義塾大学
坂井 豊貴	横浜国立大学	河田 幸視	慶應義塾大学
新熊 隆嘉	東京外国語大学	坂上 紳	慶應義塾大学大学院
大東 一郎	東北大学	山本 雅資	慶應義塾大学大学院
寶多 康弘	南山大学	有野 洋輔	慶應義塾大学大学院
西村 一彦	日本福祉大学	澤田 英司	慶應義塾大学大学院
島瀬 和志	神戸大学	一ノ瀬大輔	慶應義塾大学大学院
馬奈木俊介	横浜国立大学		